

平成 29 年度自然史学会連合講演会

瀬戸内海の自然史

2017 8.19 (土)

講演会 | 13:00~16:10

会場：大阪市立自然史博物館 本館講堂

自然史学会連合では、自然史学の普及を目的とした講演会を開催しています。今回は瀬戸内海をフィールドとする第一線の研究者が、魚や海藻、生物多様性について最新の研究成果をわかりやすくお話しします。

- 1 「イカナゴ ～瀬戸内に春を告げる魚～」
大美 博昭 (大阪府立環境農林水産総合研究所)
- 2 「性転換する瀬戸内海の魚たち」
坂井 陽一 (広島大学大学院生物圏科学研究科)
- 3 「アキラマイマイとシメクチマイマイ
～カタツムリの分布にみる 1000 年前の海岸線～」
亀田 勇一 (国立科学博物館 分子生物多様性研究資料センター)
- 4 「藻場がつくる海のにぎわい
～ダイナミックな瀬戸内海に生きる海藻たち～」
島袋 寛盛 (水産教育・研究機構 瀬戸内海区水産研究所)
- 5 「瀬戸内海の干潟と砂堆の生物多様性」
加藤 真 (京都大学大学院人間・環境学研究科)

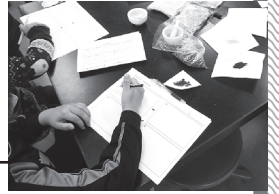
対 象：どなたでも参加できます
参加費：無料 (ただし博物館入館料が必要です)

体験教室 | 11:00~17:00
会場：大阪市立自然史博物館 本館内

自然史学会連合に加盟する学協会等が、専門分野をテーマとした工作やワークショップコーナーを出展します。

- 出展団体**
- ・日本貝類学会
 - ・日本鱗翅学会
 - ・日本人類学会
 - ・日本霊長類学会

その他、自然史に関連する学術団体が出展します。



対 象：どなたでも参加できます
(事前申込み不要、途中参加・入退出自由)
参加費：無料 (ただし博物館入館料が必要です)
その他：ブースにより個別に材料費を頂く場合があるほか、定員を設定することがあります

「自然史」とは、生き物、化石、岩石、地質などをあつかう学問分野です。身の回りのものから深海や惑星まで、私たちをとりまく自然を研究しています。自然史学会連合は、国内の自然史関係の学協会が作る連合体です。現在、40の学協会が加盟しています。

種生物学会、植生学会、植物地理・分類学会、地衣類研究会、地学団体研究会、東京地学協会、日本遺伝学会、日本衛生動物学会、日本貝類学会、日本花粉学会、日本魚類学会、日本菌学会、日本蜘蛛学会、日本古生物学会、日本昆虫学会、日本昆虫分類学会、日本サンゴ礁学会、日本植生史学会、日本植物学会、日本植物分類学会、日本進化学会、日本人類学会、日本生態学会、日本生物地理学会、日本蘚苔類学会、日本藻類学会、日本第四紀学会、日本地衣学会、日本地質学会、日本鳥学会、日本地理学会、日本 DNA 多型学会、日本動物学会、日本動物行動学会、日本動物分類学会、日本プランクトン学会、日本ベントス学会、日本哺乳類学会、日本鱗翅学会、日本霊長類学会

特別展

「瀬戸内海の自然を楽しむー生き物のにぎわいとその恵みー」 7月15日(土)～10月15日(日)

会 場：大阪市立自然史博物館 ネイチャーホール (花と緑と自然の情報センター2階)

休館日：月曜日 (月曜日が休日の場合はその翌日)。8月14日は開館)

観覧料：大人 500 円、高校生・大学生 300 円 (本館常設展とのセット券は大人 700 円、高大生 400 円)

中学生以下、障がい者手帳など持参者 (介護者 1 名を含む)、大阪市内在住の 65 歳以上の方は無料 (要証明) です。

大阪市立自然史博物館

本館 (常設展示)

開館時間・・・午前9時30分～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

休 館 日・・・毎週月曜日 (休日の場合はその翌日) ただし臨時開館の日があります。

入 館 料・・・大人300円、高大生200円、中学生以下・障がい者手帳などをお持ちの方・大阪市内在住の65歳以上の方 (要証明) は無料。

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23

TEL 06-6697-6221 URL <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>

おおさかしぜんし 検索



【アクセス】地下鉄御堂筋線「長居」3号出口・東へ約800m、JR阪和線「長居」東出口・東へ約1000m